



未来の学習者に寄り添うウイズコロナ時代の 図書館を考える：信州大学附属図書館の取組

2020年11月5日（木）
信州大学附属図書館 渡辺匡一



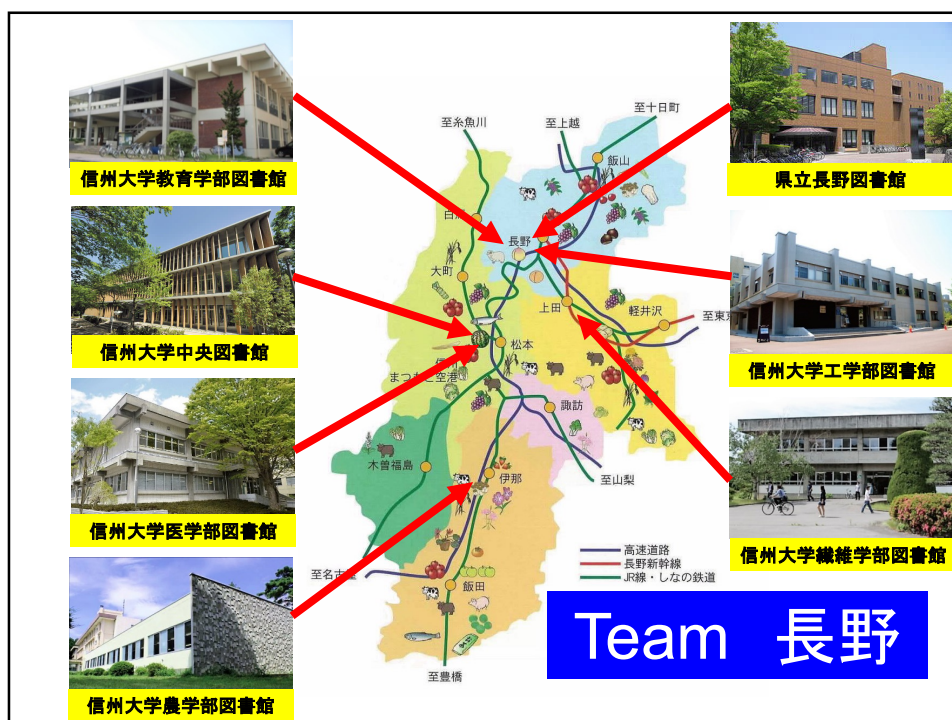
未来の学習者に寄り添うウイズコロナ時代の 図書館を考える：信州大学附属図書館の取組

2020年11月5日（木）
信州大学附属図書館 渡辺匡一



アウトライン

1. コロナ禍での図書館利用の推移
2. コロナ禍での図書館利用制限での対応
 - 2-1. 提供されたデジタルサービス
 - 2-2. 図書館による情報サービス
3. コロナ禍での図書館利用制限による影響
4. 信州(大学附属図書館)の取組
 - 4-1. 現在(足下)を見直す①—情報共有—
 - 4-1. 現在(足下)を見直す②—対応—
 - 4-2. 未来(Society5.0)を見据えて①—大学内—
 - 4-2. 未来(Society5.0)を見据えて②—信州へ—



1. コロナ禍での図書館利用の推移

	施設の利用	資料の利用
2020.4.1	△(平日短縮)	閲覧140名
2020.4.3	×	事前予約した図書の貸出・返却、複写物の提供のみ(窓口)
2020.4.22	閉館	予約した図書、複写物の郵送(費用は大学持ち)
2020.5.20	×	事前予約した図書の貸出・返却、複写物の提供のみ(窓口)
2020.5.25	△(平日短縮)	4年生以上+教職員:閲覧50名・wi-fi 50名。午前・午後入替制 3年生以下:事前予約した図書の貸出・返却、複写物の提供のみ(窓口)
2020.6.15	△(平日短縮)	閲覧80名・wi-fi 25名。午前・午後入替制
2020.7.13	△(平日短縮)	閲覧140名・wi-fi 25名。午前/午後/夜間入替制
2020.11.1	△(平日通常・土短縮)	閲覧140名・wi-fi 25名。午前/午後/夜間入替制 共同学習スペースでの対話可(1机2名) 対面での学修支援

※中央図書館の状況。利用は学内者に限る

※共同学習スペースや対面の学習支援に関しては、健康安全センターの指導により実施

2. コロナ禍による図書館利用制限下での対応

- **利用者・職員の安全の確保**
ソーシャル・ディスタンスの確保、消毒作業など
- **利用者に資料を届けるための工夫**
限定窓口での対応、郵送による資料の貸出など
- **電子情報の活用**
電子ジャーナルの利用可能範囲拡大、電子ブックの導入強化、ウェブ上での情報提供など

※詳細は、『信州大学附属図書館研究』10(2021.1)

2-1. 提供されたデジタルサービス

出版社等	サービス概要
医中誌Web	リモートアクセス（2020.3.4～）
SpringerNature	電子ブック(400点超)無償公開（2020.4.8～7.31）
Wiley Online Library	リモートアクセス（2020.4.8～）
信濃毎日新聞	新聞記事データベース リモートアクセス（2020.4.8～2021.2.4）
Maruzen eBook Library	同時アクセス数1→50 対象出版社149社。（2020.4.10～7.31）
SciFinder	リモートアクセス（2020.4.11～2021.1.11）
朝日新聞	新聞記事データベース リモートアクセス（2020.4.15～2021.3.31）
Harverd Business Publishing	電子ブック(550点)無制限アクセス、無償公開（2020.4.15～5.30）
ジャパンレτζLib	同時アクセス数2→50（2020.4.24～7.31）
Web OYA	リモートアクセス（2020.4.21～）
JoVE	リモートアクセス（2020.5.1～6.5）

2-1. 提供されたデジタルサービス

出版社等	サービス概要
Maruzen eBook Library	試験(70,000点)（2020.4.13～2,021.2.9）
KinoDen	試験制限の緩和(19,000点)（2020.5.7～7.31）
Econlit with Full Text	フルテキスト版データベース無償公開（2020.9.18～10.31）【医図】
CINAHL(EBSCOhost)	同時アクセス数1→5無制限 リモートアクセス（～2020.6.30）【医図】
メディカルオンライン	電子ブック(4900点)無償トライアル（2020.4.8～5.11）【医図】
Educational Video Online	教材無償公開 リモートアクセス（2020.4.13～7.31）【医図】
南江堂オンラインジャーナル	無償公開(6点)（2020.4～5.31）【医図】
Wolters Kluwer社遠隔学習リソース	無償公開(5件) リモートアクセス（2020.4.14～6.14）【医図】

2-2. 図書館による情報サービス

新書紹介ページ「知の森の案内人たちー学びのスタートを新書から始めようー」	https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/library/matsumoto/news/2020/05/post-125.html
授業のための電子書籍リクエストの依頼	附属図書館名で中央図書館所属学部長宛てにメールで通知(2020.5.1)
附属図書館長メッセージ	信州大学附属図書館のこれから:withコロナの時代と呼ばれる中で
電子ブックで読める【共通教育の参考書】	https://booklog.jp/users/shinshu102
1年生必修科目！【学術リテラシーの課題図書】	https://booklog.jp/users/shinshu102
【教員お薦めの本】	https://booklog.jp/users/shinshu103
持続可能でよりよい世界を目指す国際目標【SDGsの本】	https://booklog.jp/users/shinshu104
学修の入門にぴったりな【新書】	https://booklog.jp/users/shinshu-shinsho
電子ブックで読める【英語多読本】	https://booklog.jp/users/shinshu-tadoku

3. コロナ禍での図書館利用制限による影響

図書館に行けない



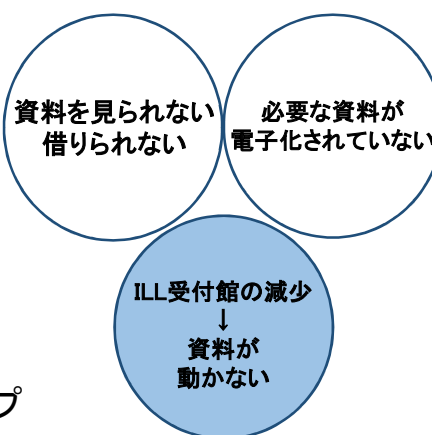
資料の利用が
できない



学修・研究がストップ

ex.)「図書館休館対策プロジェクト」

(社会科学系の若手研究者を中心とした図書館休館に伴う代替的支援施策を求めるプロジェクト)



4. 信州（大学附属図書館）の取組

1. 現在（足下）を見直す

サービスのあり方を見直す。

どうやって情報を共有し、資料を循環させられるか。

ピンチを
チャンスに！

2. 未来（Society5.0）を見据えて

来館せずに利用できる情報・サービスを拡充する。

電子ブック優先購入、オンライン・レファレンス

4-1. 現在（足下）を見直す①—情報共有—

東日本大震災（2011）

信州大学附属図書館

対象

被害にあわれた大学の学生・教職員の方

利用可能サービス

1. 館内資料の閲覧
2. 圖書の貸出 5冊2週間（延長1回） ※医学部図書館
3. 学内他館所蔵資料の配送サービス
4. 当館にない資料の文献複写・現物貸借（実費現金負担）
5. 図書館内利用者用PCからの電子ジャーナル及び学術DB

手続きに必要な物

学生証または身分証

補足

なし

（2011-3-17発表 【発表内容】 2011-04-09確認）



saveMLAKより
<https://savemlak.jp/>

大学生・教職員の皆様へ

「在籍してなくても利用できる大学図書館が全国各地にあります！」

- 在学（在籍）する大学の図書館・研究施設が利用できない場合、下記の図書館をご利用いただけます。（各館によって、利用できる内容が違います。できれば、事前に訪問先へお問い合わせください。）
- ※関東（特に首都圏）の私立大学は図書館の建物の被害、計画停電などの影響があり、受け入れが難しいところが多いのが現状です。ご了承ください。（3/28現在）
- 大学による支援の情報は以下のサイトでもまとめられています。
 - 被災された研究者・学生等の受入・研究支援等に関する情報（日本学術会議若手アカデミー委員会若手アカデミー活動検討分科会 作成）
 - 被災学生・研究者支援機関マップ（@knagasaki作成）
- 「被災された研究者・学生等の受入等に関する情報」のサイト掲載情報+追加情報を地図上から確認することができます。

図書館で働く皆様へ

東日本大震災の被災者として、全国の図書館が行っているサービス提供の事例を紹介いたします。被災地以外でも、多くの方が遠方に避難しておりますので、被災地であるうがなかるうが、図書館が被災者に対してできることはいろいろあります。ぜひ、あなたの図書館でも取り組んでみてください。

- 被災した大学に所属する教職員、学生（、一部機関は被災地の一般の方も含む）向けの図書館サービスのご案内（国立大学図書館協会）
- このページの元データとなったサイトです。東北地区の国立大学の被災状況も確認することができます。
- 東日本大震災で被災された地域の大学図書館に対する支援（私立大学図書館協会）（2011-04-14発表/2011-04-15確認）

4-1.現在(足下)を見直す②—対応—

東日本大震災(2011)

JANUL

被災した大学に所属する教職員、学生（一部機関は被災地の一般の方も含む）向けの図書館サービスのご案内

このページでは、標記サービスについての情報を提供しています（学協会情報発信サービス運用の状況）

JANULホーム

- トップ
- 北海道地区
- 東北地区
- 関東甲信越地区
- 東京地区
- 東海北陸地区
- 近畿地区
- 中国四国地区
- 九州地区
- 被災地向けEJ提供

update:2012/1/13
since:2011/03/18

https://www.janul.jp/j/news/great_east_japan_earthquake/index.html

国立大学図書館協会（東日本大震災対応）

会員館の被害状況（随時更新）

- ・ 会員館の被害状況（東北）
- ・ 会員館の被害状況（全国）

北海道地区

- 北海道教育大学附属図書館
- ・ お知らせ（2011.3.25）

帯広高専 大学附属図書館

- ・ 被災された地域の大学

旭川医科大学図書館

- ・ 被災された地域の大学の

私立大学図書館協会

東日本大震災で被災された地域の大学図書館に対する支援

東日本大震災において被災された皆さまには心からお見舞い申し上げます。私立大学図書館協会では被災された加盟館への支援を検討しており、まずは被災された地域の大学図書館・学生・教職員への加盟館による支援状況を掲載しました。

— 東日本大震災による被災状況アンケートについて —

当会からの支援策につきましては、被災された各館の状況やご要望をお寄せいただいた上で具体的な支援策を協議してまいりたいと考え、アンケートを実施しています。なお、このたびの震災の影響は広範囲に及ぶため、アンケート対象を東地区部会すべての加盟館としました。回答については、支援のための資料とするとともに、その内容をとりまとめさせていただきます。

— 報告 —

【1】 「東日本大震災」被災地域加盟館にブックリターンをお届けしました。（2011/8/22掲載）

加盟館による支援状況（加盟館名順）

- 東日本地域
 - 城西大学水田記念図書館
 - 被災地域の大学・短期大学等に所属する方への支援について（2011/4/14掲載）
- 西日本地域

<https://www.jaspul.org/pre/sinai/>



https://www.jaspul.org/pre/sinai/

4-1.現在(足下)を見直す②—対応—

○新潟県大学図書館協議会相互協力実施細則

（相互協力の範囲）

第4条 相互協力の範囲は、来館利用、文献複写、現物貸借及びその他とする。

（利用資料の範囲及び利用の手続き）

第5条 利用できる資料の範囲及び利用の手続きについては、要項によるほか、加盟館の定あるところによるものとする。

（利用の責任及び利用に伴う経費負担）

第6条 相互協力に係る責任は、利用館もしくは利用者が負い、利用に伴う諸経費は、利用者もしくは利用館が負担するものとする。

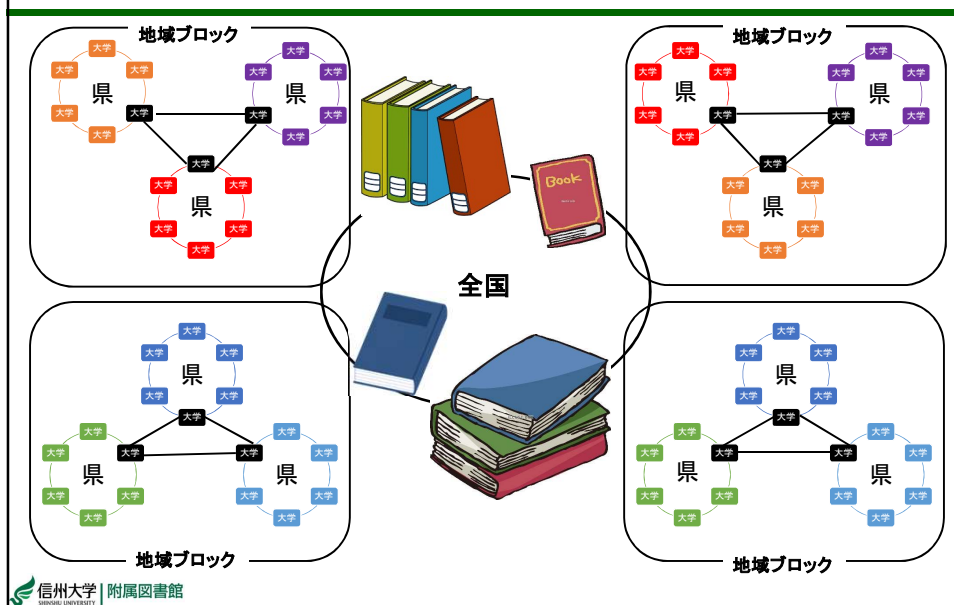
2020.10 長野県図書館大会 大学専門図書館部会（15大学21館）

「大学図書館の使命を果たすために」

非常時における情報共有と、相互協力体制の整備に向けて話し合いが持たれる



4-1. 現在（足下）を見直す②—対応—



4-2. 未来（Society5.0）を見据えて①—大学内—

- ・各学部が学生向けに推薦する図書については、「デジタル化された」ものを優先していただきたいと、学部長に直接お願いします。

2020.7.10: 繊維学部、工学部 7.20: 人文学部、経法学部、全学教育機構
7.21: 医学部 7.28: 教育学部 7.29: 農学部 7.30: 理学部

- ・図書購入費のうち、デジタル書籍購入費目を作る。

新書など、各学問分野の導入教材

- ・信州大学オープンアクセスポリシーの策定を目指す。

説明会（オンライン） 2020.9.9: 経法学部 9.18: 繊維学部 9.23: 農学部
9.24: 人文学部 9.29: 全学教育機構 10.6: 理学部
10.7: 教育学部、保健学科 10.14: 医学科 10.19: 工学部

アンケート 10.20～11.20

ポリシー策定 2021.7（予定）

4-2. 未来(Society5.0)を見据えて①-大学から-

信州大学附属図書館のこれから：withコロナの時代と呼ばれる中で (附属図書館長からのメッセージ)

5月半ばを過ぎて、ようやく日本国内の新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着いてきたように見えます。しかし、「withコロナの時代」という言葉が出てきているように、この先も、感染症のような新たな脅威と向き合いながら、日々の生活、研究・学習・社会活動を営んでいく必要があります。

信州大学附属図書館は、4月2日(木)、信州大学新型コロナウイルス感染症対策本部による「集中対策措置」に基づき、4月3日(金)から臨時休館しました。その間、オンラインや郵送で行えるサービスは継続してきましたが、5月20日(水)からは、段階的にサービスを再開させていくことになりました。その中には、遠隔授業に対応するためのWi-Fiスポットの提供という、これまででは行ってこなかった新しいサービスも含まれています。

図書館の休館によって、学生の皆さんサービスを拡張していくので、活用して

新入生の皆さんは、大学で学ぶ経験が皆さんが分け入るのを待っている「知のぜひ参照してください。

**研究者と図書館がさらに連携し、
学会・出版社とともに
あらゆる学問分野でのオープンアクセスを進めていく**

コロナ対策による図書館の休館で、学生・教職員の方々がどのような影響を受けたのか、今後どのような対策をとっていく必要があるのかについては、これからの検証と実践が必要です。この中で最も重要な論点の一つは、「自宅等に居ながらにして使える図書館サービス」が、どれだけ準備できているのか、ということだと思います。誤解をおそれずに言えば、自然科学分野においては、「かなり準備が進んでいた」(もちろん、電子ジャーナルの購読やオープンアクセスの手法の問題は厳然としてあります)と言えるでしょう。しかし、人文・社会科学分野においては、「ほとんど準備ができていなかった」と言わざるを得ません。そして、より重要なことは、「図書館が休館になって困った」と研究者が言うだけでは、この問題は解決しないということです。これをきっかけに、研究者と図書館がさらに連携し、学会、出版社とともに、あらゆる学問分野でのオープンアクセスを進めていくことが急務であると考えています。

これからの大きな変革の時に向けて、今後とも、当館の活動にご理解・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

NaganoArt+【今だから芸術を頼ろう】 https://nagano-art-plus.net/?p=10602&fbclid=IwAR26ntCufobGm7e1inqfC23E54r1Vum0StUquRXiH8fh_MzRobohDOHgync

2020年5月25日

信州大学附属図書館長 渡辺匡一

【参考】

「三密」の風景(信州大学人文学部日本文学分野)

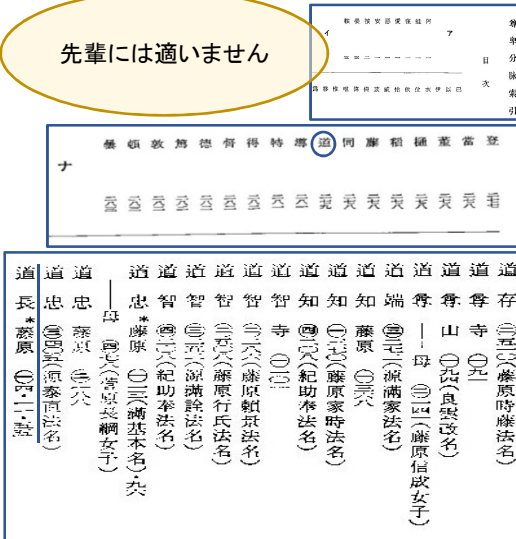


先輩が後輩を指導することが基本

【参考】
オンライン教材（辞書の引き方）

図書館に入れなければ、意味ないんですけど

先輩には適いません



『尊卑分派』本編(4冊)と索引(1冊)。索引で調べたい人物を確認します。


姓名のうち、名で調べますが、最初の一文字を「音読み」で、探していきます。

(例) 藤原道長
「道」を「どう」で探していきます。索引は50音順です。

「道〇」という人はいっぱいいるので、次は二文字目の「長」を、やはり音読み順で探していきます。

「道長」にたどり着きました。「藤原」とは「藤原氏」とのことです。

1冊目の、4、11、55ページに出てくると記されています。



信州大学 附属図書館

4-2. 未来(Society5.0)を見据えて②-信州へー

コロナ対策中でも図書館でできること

県立長野図書館は動きつづけています

県立長野図書館は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた休館期間を経て、段階的にサービスを拡充してきました。また、集まりにくい社会情勢を踏まえ、オンラインイベントやYouTubeチャンネルの開設、インターネット予約など、新たなサービスの展開に力を入れてきました。

信州の人々が、これからの信州のくらしを共に知り、共に創るために、県立長野図書館は「情報と情報、情報と人、人と人」をつなぐ「知の循環の起点（ハブ）」として、情報や空間・機会を整えられるよう、動きつづけます。

感染防止対策を講じながら、安心・安全・安定したサービスの提供を目指し、みなさんにご理解・ご協力をお願いいたします。

(2020年10月1日)

県立長野図書館は、動きつづけています。

信州大学 附属図書館

4-2. 未来(Society5.0)を見据えて②-信州へ-

過去・現在を未来へと架橋する「知のインフラ」を考えていくために

2020年6月4日

2020年の冬から、新型コロナウイルス感染症が世界中を席巻し、初夏が訪れた現在も、甚大な影響を及ぼし続けています。この感染症に関連して、亡くなられた世界中の方々に哀悼の意を表します。また、医療現場をはじめとする最前線の仕事に従事されている方々に深く感謝するとともに、私たちが含めたすべての生活者に、平穏な日常が戻ることを願っております。

私たちは今、新型コロナウイルス感染症対策の只中ではありますが、過去には何度も、人類を脅かす感染症との闘いの歴史がありました。私たちは、先人の経験・教訓を礎にして、幾多の危機を乗り越え、社会の営みを積み重ねて来ましたが、この営みが形になった現物としての史・資料を、収集し、保存し、整理し、発信する役割を担っているのが、博物館・美術館、図書館・文書館などの文化施設、MLA(Museum, Library, Archives)です。今現在、この時も、記録し、保存されていく対象です。**私たちMLAには、過去・現在を、未来へと架橋する責務があります。**

しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策において、2020年4月から5月は、長野県内でも多くの社会活動が休止されました。MLAは、展示や資料・情報の提供、生涯学習・学校教育の場としての活用、収蔵物の保存も含め、いわゆる「三密」の環境を有しています。人々の健康と命を守ることが最優先である状況下、公衆衛生の観点からMLAも多くの施設と同様に、休館を余儀なくされました。この間、人々の生活に不可欠な文化施設として、それぞれの館が「オンラインでできること」等を工夫し、情報を発信しました。

一方で、コロナ以前から、インターネットの普及は、N長野県立歴史館、長野県信濃美術館、県立長野図書館、信州における価値ある地域資源の共有を目的とし、議論と実践の場を設けてきました。

その成果が「知のインフラ」として形になったのが、2020年4月1日に県立長野図書館からリリースした「[信州ナレッジスクエア](#)」です。自宅等に居ながらにして、「信州」を切り口としたMLAの情報探索が可能です。また、デジタル情報をきっかけに現物を知るナビゲーションの役割をも果たすものであり、今後さらに内容を充実させていく予定です。

MLAの活動が止まることは、楽しみを失うばかりでなく、未来を失うことに他なりません。withコロナと呼ばれる時代にあって、私たちは「信州知の連携フォーラム」を通じて、**皆さまとともに、新しい「知のインフラ」のあり方を考えていきたい**と思っています。皆さまご支援を引き続き賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

私たちは、皆さまとともに、
新しい「知のインフラ」のあり方を考えていきます

図書館、
に
関
わ
る
て
い
く

信州 知の連携フォーラム

信州大学附属図書館長	渡辺 匡一
長野県立歴史館長	笹本 正治
長野県信濃美術館長	松本 透
県立長野図書館長	森 いつみ
県立長野図書館長	平賀 研也

4-2. 未来(Society5.0)を見据えて②-信州へ-



4-2. 未来(Society5.0)を見据えて②-信州へ-

1 教育 信州を学び、 未来を拓く

(1) 信州ならではの自然・文化・産業を活用した 学びを実現します。

自然・文化・産業が育んだ独自の魅力を活かした学びを提供します。自然体験・人間的交流・体験の多様性を重視し、自ら学ぶ意欲を醸成し、その成果を地域社会に還元する実践を通して国際競争力を向上させることを目指します。

(2) 先駆的研究の成果をもとに、新しい時代を 切り拓くための学びの場を構築します。

文部科学省選定総合型大学として、時代の変化に迅速に対応し、最先端・最先鋭・最先進の最先端型大学を目指します。また、世界的な視野をもとに、最先端・最先鋭・最先進の最先端型大学を目指し、最先端・最先鋭・最先進の最先端型大学を目指します。

(3) 生涯にわたる学びに対応できる 環境を整えます。

少人数クラスや個別の学習支援策など、学生が教員・職員と協働できる体制を整え、学生の主体的学びを支援します。また、ICT(情報通信技術)環境を最大限に活用して、社会人のセカンドキャリア・サードキャリアに対応するなど、生涯にわたる学びに対応できる環境を整えます。

(4) 信州大学から地域、世界へつながる 学びを提供します。

大学内に留まらず、自治体や企業等との連携により「地域全体キャンパス」を実現し...

(3) 生涯にわたる学びに対応できる、環境を整えます。

少人数クラスや個別の学習支援策など、学生が教員・職員と協働できる体制を整え、学生の主体的学びを支援します。また、ICT(情報通信技術)環境を最大限に活用して、社会人のセカンドキャリア・サードキャリアに対応するなど、生涯にわたる学びに対応できる環境を整えます。

(4) 信州大学から地域、世界へつながる、学びを提供します。

大学内に留まらず、自治体や企業等との連携により「地域全体キャンパス」を実現し...

ICT環境の整備、情報のデジタル化の進展

≠

人々のコミュニケーションの断絶を生み出す

しかし、コロナが...